

3．都道府県体育協会調査結果

3.1. 役員内訳

「役員（全体合計）」のうち女性の占める割合は 4.4% となっている。女性の「会長」がいる団体は一つもなかった。女性が比較的多い「理事」においても、女性の割合は 5.4% に過ぎない。

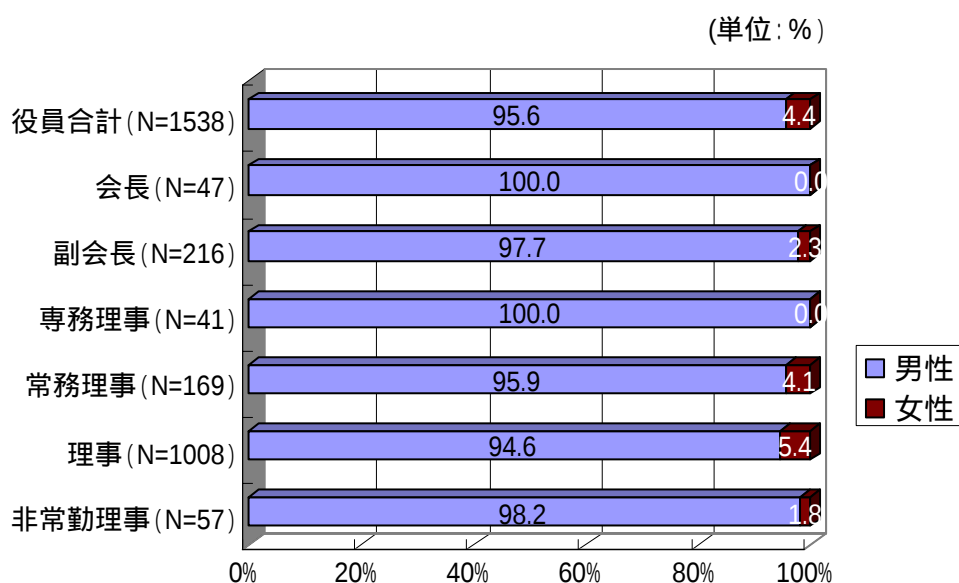


図1: 役員の男女比

備考：回答を得た 45 団体のうち、女性役員が 1 名以上いる団体は約 7 割の 32 団体。そのうち、女性役員が最も多い団体では、全体の役員数 34 名のうち、10 名を女性役員としている。その他、女性役員が 5 名の団体が 1 団体、4 名の団体が 1 団体、3 名の団体が 6 団体、2 名の団体が 7 団体、1 名の団体が 16 団体であった。

表 1：都道府県体育協会の男女別役員数							
	会長	副会長	専務理事	常務理事	理事	非常勤理事	計
男性	47	211	41	162	954	56	1471
女性	0	5	0	7	54	1	67

3.2. 各種内部委員会

「女性」に関する内部委員会が設置されている協会はわずか2.2%であった。他方、設置率が高い委員会は「医科学」と「競技力向上」であり、9割近くで設置されている。次いで「普及」「財務」の委員会も6割以上で設置されている。

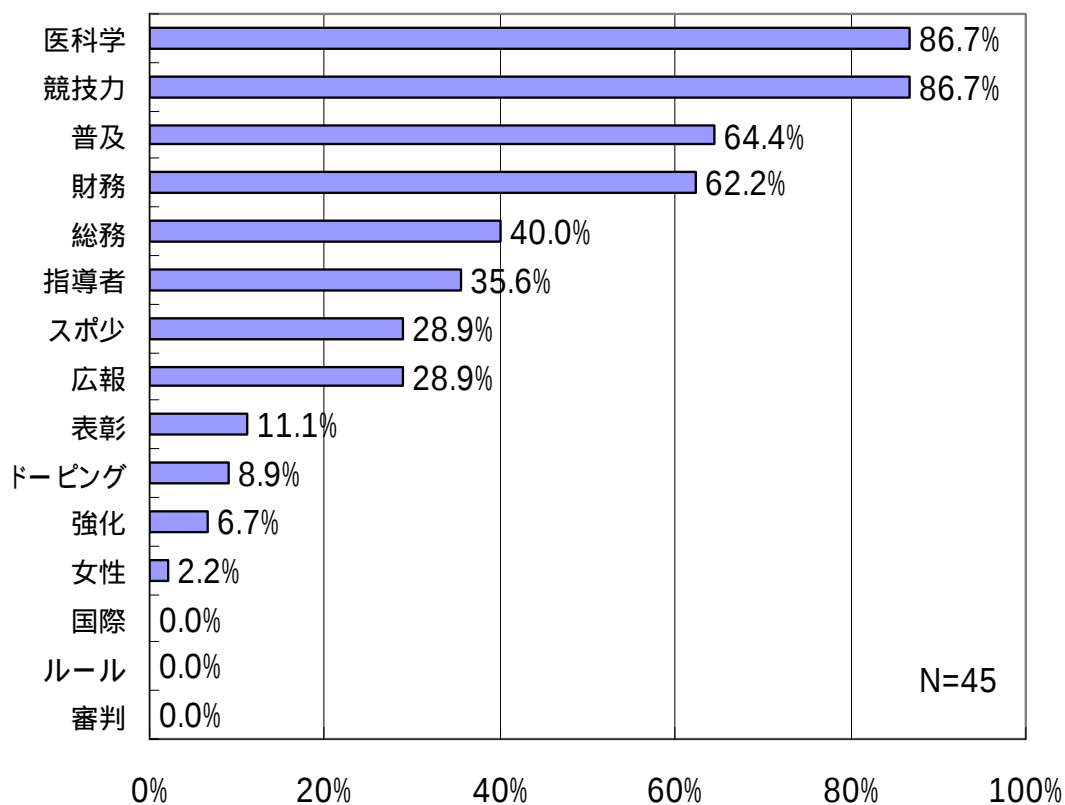


図2：都道府県体育協会の各種内部委員会の設置率

3.3. 女性とスポーツの課題について検討する委員会等の有無

女性とスポーツの課題について検討する委員会・研究会・プロジェクトなどの有無について聞いてみたところ、「ある」と回答した協会はなかった。今後「設置を検討中」との回答は11.1%と1割程度になっている。

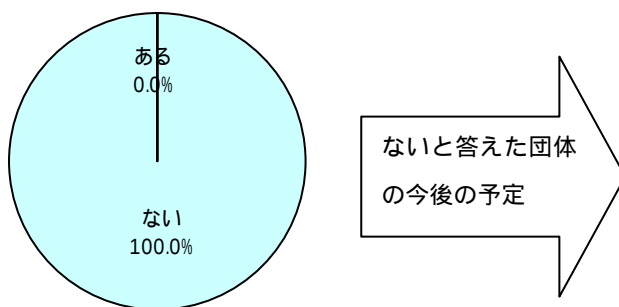


図3：女性とスポーツの課題について検討する委員会等の有無 (N=45)

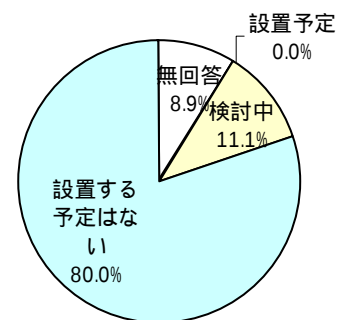


図4：今後の設置予定(非設置協会) (N=45)

表 2 : 「設置を検討中」と答えた団体とその特記事項

1	今後、女性のスポーツ界への参加を促進するため。
2	女性指導者の増員についてセミナー等の機会に啓発等を行う検討をしていますが、委員会等の設置までは至っていない。

表 3 : 「設置する予定はない」と答えた団体とその理由

1	本会の事業で、特に女性のスポーツに関する課題はない
2	現在、本県においては女性スポーツに関する事項について「今日的課題」としての認識に至っていない。
3	特にこのことについて課題や問題点になっていないため。
4	現在の所、女性とスポーツに関する諸問題の発生は心配していないが、競技団体や日体協の動きに注意しつつ今後の方向を見極めたい。
5	加盟競技団体ではそれぞれの団体で検討。専門委員会であるスポーツ少年団では女性指導者を増やしたいとは考えてはいるが具体的には検討されていない。
6	各加盟団体で取り組んでいくことに対して、当協会が支援することと考えている。これまで、各加盟団体からの要請や支援を求める声はない。
7	特に課題が認められないため。
8	競技団体毎に、種目の特性が異なるので、現時点では各競技団体に任せている。
9	特に今まで、そういう意見も問題もなかった。今後は必要に応じて検討していくつもりである。
10	現在のところ女性とスポーツについての課題がないことから、設置する予定はない。
11	国体を控えた本県にとって現段階では特に必要性を感じていない。
12	今後検討課題となる可能性はありますが、今はまったく動きはない。
13	今後、家庭婦人競技連盟を中心に検討願うため。
14	特に、女性とスポーツについての委員会の設置はないが、本年度より、県体協を考える新しいプロジェクトチームを立ち上げ、その中で検討される事も考えられる。
15	具体的な課題がないため。

3.4. 女性とスポーツについての課題

女性とスポーツに関する課題への取り組み状況について聞いてみたところ、「特に課題ではない」という回答が多いものの、「これから解決策を検討したい」という前向きな回答もあり、なかでも「競技会・イベント等の企画立案における女性の参画」「練習施設、大会会場における託児所の整備・充実」「女性競技者の撮影等に関するメディア・ガイドラインの作成」が上位にあがっている。

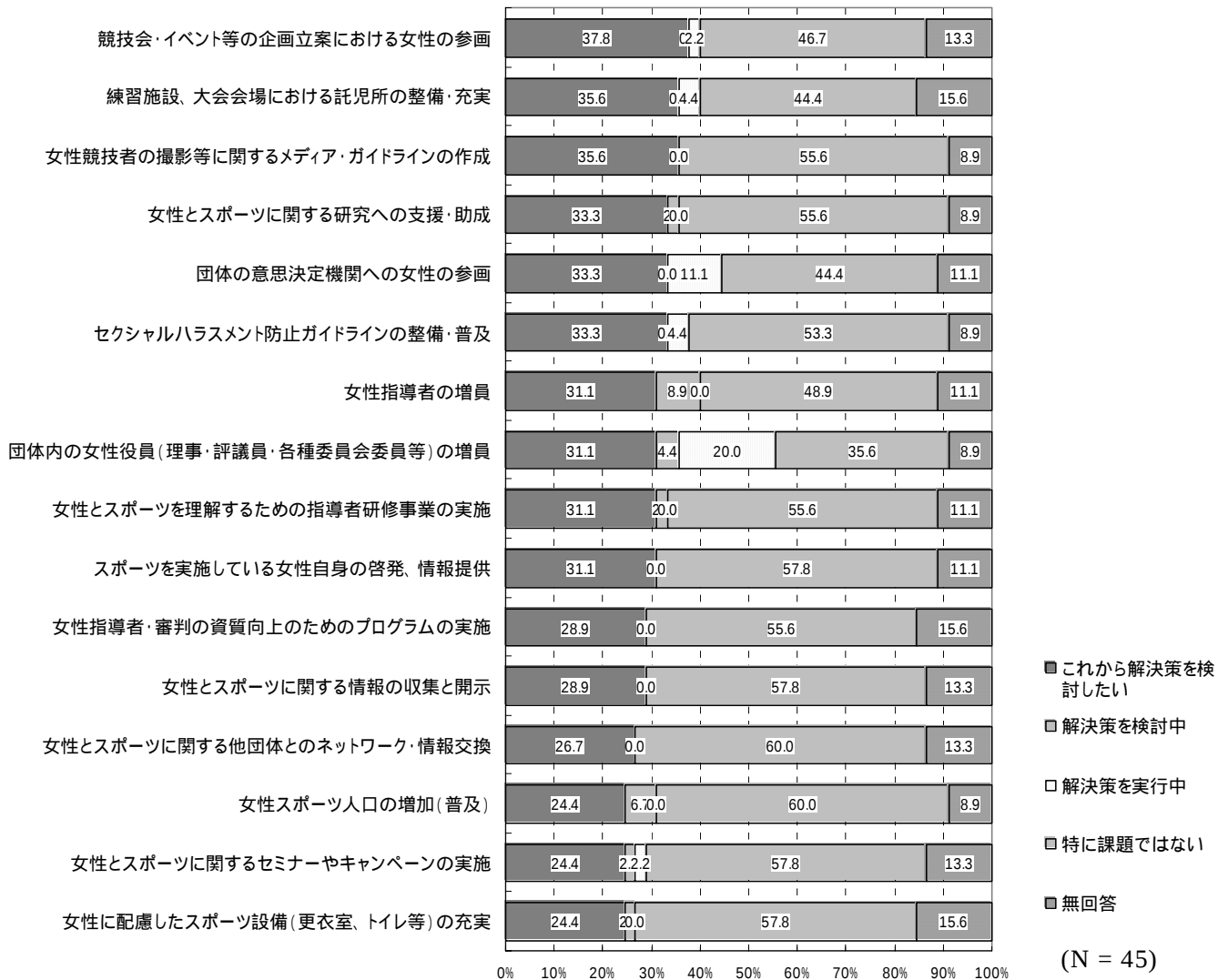


図5：都道府県体育協会の女性とスポーツについての課題

表4：各都道府県体育協会の女性とスポーツについての課題

= 解決策を実行中 ○ = 解決策を検討中 = これから検討したい × = 特に課題ではない 空欄 = 無回答

都道府県体育協会	1 スポーツ人口増加	2 指導者の増員	3 審判の増員	4 役員の増員	5 意思決定機関への参画	6 他団体との情報交換	7 情報の収集と開示	8 企画立案への参画	9 セミナーやキャンペーンの実施	10 指導者・審判の資質向上プログラムの実施	11 指導者研修事業の実施	12 スポーツ実施している女性自身の啓発・情報提供	13 託児所の整備・充実	14 スポーツ設備（更衣室・トイレ等の充実）	15 セクシャルハラスメント防止ガイドラインの整備・普及	16 研究への支援・助成	17 撮影等に関するメディア・ガイドラインの作成
1	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	×	×		×	×	×	×			×	×			×	×	×	×
3	○										×	×		×	×	×	×
4	○	○				×	×				×	×				×	×
5																	
6	×	×			×				×	×	×	×		×		×	×
7	×	×		×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×
8	×			○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
9	×	×						×	×	×			×	×			
10																	
11														○			
12	×	×				×	×		×	×	×	×	×	×		×	×
13	○	○		×	×				×	×	×	×	×	×	×	×	×
14																	
15						×			×	×	×	×	×	×	×	×	×
16	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
17							×										
18	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
19	×	○			×	×	×	×	×		×	×	×	×		×	
20	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
21	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
22	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
23		○		○					○								
24	×			×	×			×	×	×	×	×		×	×		
25	×	×				×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×
26	×				×						×	×			×	×	×
27	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
28	×	×		×	×	×	×	×									
29	×					×	×	×	×					×			
30	×	×			×	×	×	×	×	×					×		×
31																	
32																	
33	×	×				×	×										
34												×					
35						×	×	×	×	×	×			×	×	×	×
36											○				×	○	
37	×	×			×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×
38	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
39						×	×								×		×
40	×	×		×		×	×	×	×	×			×	×		×	
41											×	×				×	×
42	×	×				×		×	×	×	×	×					
43	×	×		×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×		
44	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
45																	

3.5. 女性とスポーツについての課題の具体的な取り組み内容(主な回答)

1. 女性スポーツ人口の増加(普及)

1	スポ少女子団員の増加策について関東ブロックで検討中
2	各加盟団体が取り組んでいる
3	課題はあるが実施していない

2. 女性指導者の増員

1	スポ少女性指導員の増加策について関東ブロックで検討中
2	各加盟団体が取り組んでいる
3	課題はあるが実施していない

3. 審判の増員 (競技団体への質問のため回答なし)

4. 団体内の女性役員(理事・評議員・各種委員会委員等)の増員

1	副会長、副理事長に各1名ずつ女性スポーツ団体から登用
2	専門委員会委員選任の際、特に配慮した
3	今回の役員改選により女性役員(理事)2名増。
4	女性スポーツから1名、本会理事に選任
5	女性理事・評議員増員
6	本年度の役員改選時に初めて女性理事を起用した
7	理事3名いる。評議員は加盟団体に検討
8	課題はあるが実施していない

5. 団体の意思決定機関への女性の参画

1	役員として参画している
2	女性役員の増員
3	女性理事・評議員増員

6. 女性とスポーツに関する他団体とのネットワーク・情報交換

1	体協等ホームページに要望等あれば利用できる。
2	県家庭婦人連盟が本会に加盟しており各種団体と情報交換を行っている

7. 女性とスポーツに関する情報の収集と開示

1	体協等ホームページに要望等あれば利用できる
2	県家庭婦人連盟が本会に加盟しており各種団体と情報交換を行っている
3	課題はあるが実施していない

8 . 競技会・イベント等の企画立案における女性の参画

1	県民体育大会などに女性の部をもうけている
2	各種大会、講習会等で女性指導者が活動している。
3	女性のスポーツ振興はもとより、各団体の役員や事業企画等への女性参画の働きかけを実施
4	女性団体の結束力があり積極的に参画している

9 . 女性とスポーツに関するセミナーやキャンペーンの実施

1	コーチ研修会等で女性の立場等を配慮
---	-------------------

10 . 女性指導者・審判の資質向上のためのプログラムの実施

1	指導者講習会実施
---	----------

11 . 女性とスポーツを理解するための指導者研修事業の実施

1	女性スポーツフォーラム(スポーツ少年団)
2	指導研修会の課題である

12 . スポーツを実施している女性自身の啓発、情報提供

1	各競技団体へのはたらきかけを画策する必要がある
---	-------------------------

13 . 練習施設・大会会場における託児所の整備・充実

1	ボランティアによる託児所の運営を実施している。
2	競技人口の拡大を図るうえで今後の課題と考える
3	大会等の託児については主催側が考慮すべきこと

14 . 女性に配慮したスポーツ設備（更衣室、トイレ等の充実）

1	各競技団体へのはたらきかけを画策する必要がある
2	更衣室、トイレ等の整備はしている

15 . セクシャルハラスメント防止ガイドラインの整備・普及

1	自治体の指導を受けている
---	--------------

16 . 女性とスポーツに関する研究への支援・助成

1	スポーツ医・科学委員会で取り組んでいる
---	---------------------

17 . 女性競技者の撮影等に関するメディア・ガイドラインの作成

1	回答なし
---	------

3.6.JOC「女性スポーツ委員会」への期待・要望

1	本会では、役員に女性スポーツ団体から登用するなどして女性の立場からも意見を出してもらっている。特に県民スポーツの振興としては、県民体育大会の女子種目の設置、強化の面では女性の強化に重点を置いて実施している。今後は、女性スポーツの環境面でも積極的に取り組んで行きたいと考えていることから、情報提供をしてほしい。
2	競技人口の拡充やスポーツ振興の部分で今後本県でも近い将来必要となるものと思われる。貴委員会での活動や検討事項など早い段階での情報提供をお願いできれば幸いである。
3	国際競技会における女性選手の活躍に比べて、スポーツ団体における女性役員の比率は著しく低い。ある程度の努力目標値を設定することも必要ではないか。
4	女性は、出産、育児の関係でどうしても男性と同じ様には仕事をこなせない時期がある。日本では、まだまだそれが理解されにくく、有能な方々が家庭に隠れているのが現状のように思われる。啓蒙活動等をお願い致したい。
5	団体内での女性役員の増員、参画を切に希望致します。我が国のスポーツ振興、普及をより啓発させるには、やはり女性の進出が鍵になるのではないか。今後の御指導、よろしくお願い致します。
6	共働きが多い（収入が少ない）等、女性がスポーツの分野に参画するための生活の中の諸条件が整っていないという根本的な問題から改善する必要がある。
7	より具体的実現項目を設置し、数値目標を掲げることが望ましい。
8	本体育協会では、現在のところ、「特に女性について限定して」の内容で課題を持ち、取り組んでいる状況にはない。尚、今後は、女性指導者・審判員の育成や活用等については、他県の状況や「女性スポーツ委員会」からの情報を参考にしていきたいと考えている。
9	検討した事項等の情報提供。

3.7. 第4回世界女性スポーツ会議への要望

1	スポーツは男女の区別なく等しく関わるべきもので、女性にとってのスポーツという視点に偏り過ぎて逆差別とならぬ様にしてほしい。また、種目別の特性により自ずから男女平等扱い出来ぬ面もある点認識されるべき。
2	日本におけるスポーツ関係組織への女性参画率が低い現状。本会議の開催を機に女性の参画拡大を期待するものである。
3	今後の動向を計るうえで非常に重要な会議であると考えます。一般への傍聴の機会はあるのか。
4	女性、すなわち母親としてスポーツに関わるうえで家族の協力、託児所等の問題があると思われるが、生涯にわたって女性が係わっていくことのできる環境を整えていくことが必要。
5	女性選手の活躍を妨げる一因として、出産、育児をする中で、競技年数や活躍の機会が制限される事が多くなっていると考えられる。今後、女性選手が世界の舞台で活躍出来るよう、条件整備・環境整備が必要になるのではないか。
6	女性とスポーツにかかわる現状と課題などを話し合いスポーツ界における男女平等を目指す活動を期待する。

3.8.ま と め

1) 女性スポーツ振興のために設立・設置された団体・委員会等の実態について、(財)日本体育協会加盟の47の都道府県体育協会を対象に調査したところ、45団体(95.7%)から回答を得た。

2) 「役員(全体合計)」のうち女性の占める割合は4.4%となっている。女性の「会長」がいる団体は一つもなかった。女性が比較的多い「理事」においても、女性の割合は5.4%に過ぎない。

3) 「女性」に関する内部委員会が設置されている協会はわずか2.2%であった。他方、設置率が高い委員会は「医科学」と「競技力向上」であり、9割近くで設置されている。次いで「普及」「財務」の委員会も6割以上で設置されている。

4) 女性とスポーツに関する課題への取り組み状況について聞いてみたところ、「特に課題ではない」という回答が多いものの、「これから解決策を検討したい」という前向きな回答もあり、なかでも「競技会・イベント等の企画立案における女性の参画」「女性競技者の撮影等に関するメディア・ガイドラインの作成」「練習施設、大会会場における託児所の整備・充実」が上位にあがっている。

5) 女性とスポーツの課題について検討する委員会・研究会・プロジェクトなどの有無について聞いてみたところ、「ある」と回答した協会はなかった。今後「設置を検討中」との回答は12.2%と1割程度になっている。